

【テーマ1】 人事制度の課題に対する研究・検討の実施と時代に対応したあるべき姿の提示

◎ 人事行政に関する専門的・中立的機関として、組織活力の向上に向け、時代に対応したあるべき人事制度を追求し、発信します。

めざす方向

(中長期の目標)

- ・「職員の給与等に関する報告及び勧告」における勧告・意見への反映

時代に対応した人事制度構築のための研究・検討、提示

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（R2.3月末時点）>
<p>● 組織活力の向上に向け、職員一人ひとりがその能力を最大限発揮できるよう、中長期的な観点から、働き方改革やAI技術の進展等の社会的動向にも留意しつつ、時代に対応したあるべき人事制度の構築に資するよう研究・検討を進めます。</p> <p>(スケジュール) H31年4月～：研究・検討 令和元年10月：勧告・意見の申し出</p>	<p>◇ 活動指標（アウトプット） ・ 勧告・意見の申し出</p> <p>◇ 成果指標（アウトカム） (定性的な目標) ・ 時代に対応したあるべき人事制度の構築に向け、考え方や方向性等を提示することにより、組織活力の向上につなげていきます。</p>	<p>○ 本年の勧告・意見への反映を検討すべき課題に関して、任命権者における対応状況や今後の方針等について情報収集を進めました。</p> <p>○ 人材育成、キャリア形成など人事制度の諸課題について、人事委員会の意見の取りまとめを補助し、本年の勧告・意見に、人事委員会の見解として盛り込みました。</p>